



自然と人間社会が共生する只見町

議会だより

No.173

令和5年10月27日発行

2023 OCTOBER



引っ張れ！引っ張れ！

(表紙の説明は7ページへ)

令和4年度決算審査、
人口減少・人材確保に課題！ 2~3

只見中学生議会傍聴
未来を見据えた真剣なまなざしで！ ... 10~11

9名が町政を問う！一般質問 13~22

只見町議会中継は、只見町議会
ホームページからも視聴できます。
議会中継へ➡



減少・人材確保に課題!

令和4年度決算を認定

4年度決算の特徴

(千円以下切捨て)

令和4年度の一般会計、特別会計を含めた総額は歳入85億9561万円、歳出84億466万円、歳入歳出差引額1億9095万円となり。このうち一般会計では歳入61億2824万円、歳出59億7721万円、歳入歳出差引額は1億5102万円となっており、歳入決算は昨年より1.1%減。主な事業として、建物購入事業若者定住住宅、下福井町集会施設新築工事、道改良工事、只見駅前賑わい創出事業等。

監査委員会、決算特別委員会では、人口減少問題に直結するU・Iターン政策や若者定住政策、町の医療・福祉につながる人材確保に対して、「成果が乏しい結果となり、効果的な効果・検証を実施するよう」意見が出された。

財政の健全化を示す経常収支比率や実質公債費率、公債費負担比率等の数値は健全と判断された。

令和4年度只見町一般会計及び特別会計の歳入・歳出決算特別委員会が設置され、9月12日から3日間にわたり審議されました。特別委員会ではU・Iターン政策や看護師等の人材確保の予算執行において、当初の目標を下回っていることから意見を付して認定しました。



よるもの。

A 給与所得の増加、資産売却に

Q 人口減でも税が増加している理由は。

町民税増の要因は

一般会計歳入

決算特別委員会質疑

一般会計歳出

U・Iターン有資格者等人材確保予算について

Q 当初予算で1000万円計上されていたが執行されていないが。

A 看護師、保健師の採用を目指したが、応募者がいなかった。

U・Iターン就業促進、若者定住支援補助金は有効利用されたのか

Q 実績は
予算に対し、決算額が少ない。

A U・Iターン就業促進補助、予算15組150万円、決算11組85万円、若者定住支援事業補助、予算150万円、決算5万円となっている。制度

の見直し等を図り、活用を推進したい。

地域おこし企業人交流プログラム負担金はどう活かされたか

Q 今後の行政にどう活かすのか。

A 3名の指導員を要請、写真・動画撮影、ふるさと納税の指導、イベントPR、職員の人材育成、経営改革指導を実施。

情報システム管理委託料

Q 契約の方法は、また単価の算出根拠は。

A NTT等システム導入会社との随意契約となっている。単価算出は県等の単価、見積もり単価を参照としている。

令和4年度決算審査人口

**包括協定推進事業
委託をどう活かして
いくのか**

Q この事業を今後
どう活かしてい
くか。

A 町内のアクティ
ビティの調査を
実施、拠点施設の提
案、商品化の検討を
実施、モンベルとの包括
協定を活かしていく。

**運転免許証
自主返納者への
利便性向上**

Q タクシー券配布
だけでなく、田
島行きバス（自然首都
只見号）には利用でき
ないか。

A 現在はゆきんこ
タクシー100
回分のタクシー券を支
給、今後検討する。

**保育士の人材は確
保されているのか**

Q 保育士は充足し
ているか。現在
待機児童はいるか。

A 保育士は現在2
名不足してお
り、募集中だ。現在待
機児童はいない状況。



**子宝祝金制度の
改善が必要では
ないか**

Q 子宝祝金は出産
後町外へ転出す
る場合、日数等により、
返還することになって
いるが、返納は必要な
のか。

A 今後、庁内で協
議・検討してい
く。

登山道管理委託費

Q 管理する人材は
確保できている
か、これまでに事故は
ないか。

A 管理は区や業者
等に依頼してお
り、人材は確保できて
いる。これまでに事故
はない。

**第三セクター経営
検討委員会、経営
改善人材確保は有
効に活用されたか**

Q 第三セクターの
経営は改善して
いないように見受けら
れるが。効果はあった
のか。

A 経営改善人材確
保により、人材
育成、営業、経営面等
でアドバイスをいただ
き社員教育等で効果が
みられた。

**有害鳥獣被害対策
による実績、被害
状況は**

Q 令和4年度県補
助による、シカ、
イノシシの捕獲実績は、
また被害額は増えてい
るか。

A 捕獲頭数はシカ
51頭、イノシシ
41頭（外、町補助2頭）
だ。被害面積は減少し
ているが、被害額は増
加している。



**教員住宅改修工事
の状況は**

Q 経年劣化が進ん
でいるように見
えるが。建て替えの考
えは

A 現在は修繕工事
で考えているが
老朽化もしており、建
て替えも検討しなけれ
ばならない状況だ。

総括質疑

Q 決算委員会では
予算の執行によ
る効果の検証も目的と
している。説明員は予
算の執行により、効果
があったのか否かの説
明もしていただきたい。
A そのような説明
を心掛ける。

国民健康保険事業・施設 特別会計

歳入

保険料滞納者への
対応について

Q

滞納者は診療等において、不利益を受けることはないか、また、長期滞納者に対しての措置はどのようなにされているのか。

A

滞納者には随時納入を促し徴収を実施している。そのうえで滞納者が不利益を受けることはないようにしている。長期滞納には地方税法に則り、不納欠損として対応している。

歳出

診療所に
隣接している
医師住宅について

Q

診療所の脇にある医師住宅、現在はどうのように利用されているのか、今後の活用は。

A

現在建物の一部をコロナ対策用として利用している。今後の活用については協議していきたい。



令和4年度 各会計決算の議決状況

(千円以下切り捨て)

会計名	歳入	歳出	賛否		
			認定	不認定	
一般会計	61億2824万円	59億7721万円	11	0	
特別会計	国民健康保険事業	3億7630万円	3億7625万円	11	0
	国民健康保険施設	3億8499万円	3億8411万円	11	0
	後期高齢者医療	1億5283万円	1億5262万円	10	1(山岸)
	介護保険事業	7億7660万円	7億5784万円	11	0
	介護老人保健施設	2億7812万円	2億7781万円	11	0
	地域包括支援センター	1382万円	1382万円	11	0
	簡易水道	1億6335万円	1億6287万円	11	0
	集落排水事業	3億0482万円	3億0186万円	11	0
	朝日財産区	1651万円	23万円	11	0

討論(討論者)	会計名	反対理由
反対討論(山岸委員)	後期高齢者医療特会	制度自体に反対

決算審査監査意見

審査実施期間 令和5年8月1日、2日、3日、4日、28日（5日間）

代表監査委員 吉津 文裕 議会選出監査委員 酒井 右一

① 委託料及び負担金及び補助金交付金について

只見町は財政力が低下する中、委託料、負担金及び補助金は年々増加傾向にある。これら委託料・補助金等の支出に当たっては事業の成果及び将来見通しを十分精査し、「只見町中期財政見通し」及び「只見町行政改革大綱」に照らし、事業の適切な運用を図られたい。

なお、平成26年4月から5年間にわたり実施された、「只見町宿泊・飲食持続化創業支援事業」については、その目的とする効果が見られず、反対に当該の対象事業者は衰退している。

この事業は産業振興の根幹にかかわる事業であり、投下した補助金も81,410千円に上る。町長は当該事業の主旨を踏まえ、適切にその効果及び成果が具体的な事実として現れるよう努力すべきである。当該補助事業の一部に、「只見町宿泊・飲食持続化創業支援事業補助金交付要綱」及びその募集要項に該当しない事例がある。これについては、昨年度の決算監査報告書で相当踏み込んだ監査意見を記したが、令和4年度会計出納閉鎖期限を過ぎても、未だに補助金が返還されないままになっている。

納税義務を課され、勤勉に納税される町民にとっては憤懣やるかたないものである。早急に当該補助金を返還させられたい。

更に、精算終了する「一般社団法人観光まちづくり協会」に対し、清算のための補助金として10,410千円を支出している。補助金の理念及び各法令に照らし、この支出が適切であったとは言えないものである。

② 人材の確保と住民福祉の充実について

より質の高い「住民福祉の向上」を求めるには人材の確保が重要かつ急務である。特に医療や保育・福祉の現場に人材が不足し業務に顕著な支障をきたしている。為すべき行政に支障のないよう早急に人材確保を行うべきである。

③ 住民と行政の協働強化について

少子高齢化が極度に進行している。また、人口の減少は予測を上回る勢いで進んでいて、各集落においては社会機能が喪失しつつある。行政と住民の協働がなければ基礎自治体は崩壊する。厳しい現実を回避し社会機能を維持するため、住民自治の強化を図る必要がある。そのため、住民と行政の協働を強く推し進め、住民自治の強化を図るべきである。

決算特別委員会審査意見

審査実施期間 令和5年9月12日、13日、14日（3日間）

委員長 矢沢 明伸 副委員長 菅家 忠

① 歳入では地方交付税の占める割合が歳入全体の54.8%となり、前年度対比で6.4%の増となった。今後の国からの財政措置は厳しくなることが予想される。ふるさと納税等の自主財源の確保に一層努められたい。

② 歳出では委託料の占める割合が歳出全体の18.9%となり、前年度対比で9.3%の増となった。また負担金補助及び交付金も歳出全体の14.3%となり、前年度対比で20.2%の増となった。特に当町が直面している人口減少に対し、U・Iターン支援や看護師等の専門職確保補助制度を設けているが成果が乏しい結果となった。歳出割合の大きい両科目の成果の評価・検証を常に行い、随時見直しを図るなど制度の趣旨に沿った適切な予算執行に努められたい。

只見町特別功労者表彰同意

* 只見町大字只見字雨堤1054の2

菅家 三雄氏

* 只見町大字黒谷字田中1198

大塚 純一郎氏

* 只見町大字大倉字上田114の1

佐藤 孝義氏

固定資産評価審査委員会委員選任同意

* 只見町大字只見字宮前1304の1

渡部 茂氏

今年も 物価高騰対策支援!!

9月
会議

(千円未満切捨て)

主な補正予算

- 町内利用商品券
発行事業

4122万円

町内事業者で11月より使用できる
1万円分の商品券を全町民に配布

- 物価高騰対応生活困窮世帯
緊急支援給付金

300万円

住民税非課税世帯
500世帯に1軒6000円を給付

- 電力・ガス・食料品等価格高騰対策
重点支援給付金 600世帯に1軒3万円給付

1800万円

- 消防ポンプ自動車1台取得

上福井地区に配備

2497万円



出動が無い事が大事・火の用心!

- 町道・施設維持補修工事

1430万円

石伏・館ノ川線ガードケーブル修繕、
上坪橋高欄更新、長浜地区消雪操作盤入替

- 町道改良工事

857万円

黒谷田中・寺の下線
ガードパイプ新設

- 住宅整備費 宅地造成工事他

国道289号開通に伴う
入叶津集落内宅地造成工事

1008万円



条例 改正

条例改正が5件あり。
主なものは奨学金資金貸与条例の改正
「みらいの人財育成」「保健師・助産婦養成」「医療施設等技術者養成」
奨学資金貸与の手続きが簡素化された。

町のこと、議会のことについて想いを書いてもらう新企画コーナー

子育てに優しい町に

住んでみて最初に思うのは、只見の人はみんな暖かくて優しい人だなと思います。まるで身内のように接してくれることに、良い意味で戸惑いました。

子どもができて思うのは、もう少し子育てに優しい町だったらいいなと思います。南会津町の「きとね」に子どもと一緒に出かけたら、子どもは楽しそうに木のおもちゃで遊び、私も木に囲まれた空間で癒されました。只見町にも、土日も開放している親子向けの屋内施設があるといいなと思います。農村公園でも楽しく遊ぶのですが、夏の酷暑と冬の大雪ではついつい家に籠りがちになってしまいます。

(30代女性)



診療所のあり方



朝日診療所は町内唯一の医療機関であるがここ数年、受診する患者さんの数や、入院患者の受け入れも減少している。ここ1、2年はコロナ禍ということもあるのかも知れないが、本来であれば真っ先に診てもらいたい診療所なのに、多くの人がよその町や会津若松、坂下の病院の方に行ってしまうのは何故なんだろう？専門医がいなくても原因かもしれないが、診療体制に問題があるのではと考えてしまう。夜間の緊急患者は受け入れない、こんなことでは、町内唯一の医療機関といえるのかと思うのは私だけでしょうか。町では医師体制、看護師数をもっと増やさないと対応できないと聞きますが、個人医院などを見れば少ない医師の数で多くの患者さんを見ているところがあるのに、なぜ町の唯一の医療機関なのに町民に目が向けられないで、医師の数、看護師の数にだけ目が向けられてしまっているのか、どうして患者さんが少なくなっているのか、もう一度考えてもらいたいと思います。

(50代女性)

表紙の写真に想う



町民運動会綱引きの1コマ。
令和5年9月10日に只見地区町民運動会が4年振りに開催され、上町地区、田中地区、只見高校生の3チームにおいて、綱引き、地区対抗リレー、玉入れ等の競技が実施されました。

●子育て支援対策への取り組み

①人口減少対策について

「認定保育園」について検討が進められているが、少子化の中で成人前までの子育て政策の策定を求める。

②「新会社の設立について」

「新会社の設立について」当委員会で説明を受けたが、設立の必要性、内容についてさらに調査していく。

視察報告

1, 出雲崎町の子育て支援事業では、妊娠期から18歳まで町内で育てた場合、1人約270万円の支援が受けられることを広くPRしている。「多世代交流館きらり」を建築し、子ども遊び場の提供、子育て世代の交流の場を設けている。また、若者向けの賃貸住宅整備や子育て世代・移住世帯に対する支援を実施している。

2, 燕市は、「子育てするなら燕市で」をキャッチフレーズとして、子ども未来課を設置、子育てガイドを配布し、妊娠時から小学校入学までをサポートしている。認定こども園は2ヶ月児から受け入れが可能となっている。



出雲崎町「多世代交流館きらり」

●森林資源活用動き出す

① 第三セクターによる新会社設立について

(株)季の郷湯ら里の経営再建計画が重要との意見が出されている中、観光を中心とした新たな「まちづくり会社」設立の提案が示された。新会社の経営体制、方針は急遽示されたが、審議不十分のため今後も慎重な調査をしていく。

② 薪エネルギー事業の森林資源活用、地域振興については理解できるが、伐採計画について森林事業者等から意見聴取し慎重な対応をしていくこと。又、薪ボイラー設置計画についても設置側事業者との協議もない提案であり慎重に調査していく。

意見聴取

9月15日森林事業者から伐採、間伐等について専門家の意見を聴き只見町の森林の現状を理解し今後の提案にも慎重に調査対応していく。



動き出した薪エネルギー事業

●3議会視察研修 受け入れ!

7月31日 7月会議開催について

8月4日 福島県国見町議会行政視察。通年議会制度について。

8月8日 宮城県七ヶ宿町議会行政視察。通年議会制度、広報広聴活動について。

8月25日 山形県河北町議会行政視察。議会改革、通年議会、議会基本条例、広報広聴活動について。

8月31日 議会9月会議開催について



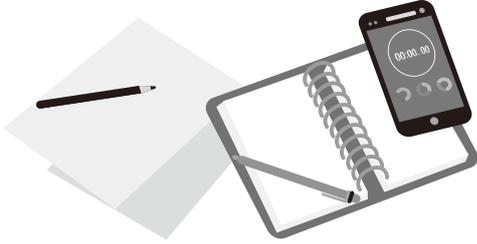
●令和4年度

一般会計認定

8月24日定例会、只見町より矢沢明伸、大塚純一郎議員出席。

下郷町長星学氏が管理者として5月31日より就任したとの報告、議案令和4年度の主要施策の成果及び一般会計歳入歳出決算は、監査委員の意見を付して認定された。

令和5年度一般会計補正予算では消防費負担金の減額、財政調整基金への積立等について原案通り可決された。



●令和4年度

一般会計認定

令和5年第2回南会津地方環境衛生組合議会定例会議が8月24日(木)開催、只見町から組合議員の鈴木好行、酒井正吉郎、大塚純一郎議員出席。

主な内容は、報告事案、令和4年度火葬業務、し尿処理業務、ごみ処理業務に関する主要な施策の成果及び予算執行の実績に関する報告、浄化槽清掃維持管理手数料の債権を放棄した報告があった。

そのほか、令和4年度一般会計、歳入歳出決算を認定。令和5年度一般会計補正予算、構内交換設備等工事1式の増額補正議決。



●議会報告会開催します！

① 議会だより172号発行作業（7月28日発行）

② 議会広報を通して町民の方に行政内容が分かりやすく、読んでみたくなる広報誌の発行への取り組み。

③ 町民の声を町政に反映させるための広聴活動にも力を入れ取り組んでいく。

④ 群馬県榛東村議会へ視察研修（7月18日、19日）



群馬県榛東村議会広報常任委員会視察

令和5年度 議会報告会

テーマ
『町や議会に望むこと』

とき
11月26日(日)

場所・時間
只見公民館 午前10時00分～
朝日公民館 午後 1時00分～
明和公民館 午後 3時00分～

*多くの方の参加をお待ちしております。

未来を見据えた 真剣なまなざしで！

思い思いの感想をいただきました。
抜粋にてご紹介いたします。



私はユネスコエコパークについて勉強しています。今後、今以上に人と自然が共生した只見町になって欲しいです。

政治が、市町村にどれだけ重要なものが分かってきました。現場を見学することで自分にはない視点を獲得することができました。

自分は町のことを知っているようで、知らないというところ、議会での話で難しい話が多く、本当に良い経験になりました。

傍聴してみて、町の未来を自分事として捉え、自分でも良く考えて将来に活かしていきたいと思います。

町の未来のことや、現状について知ることができて貴重な体験になりました。中学生として未来の只見町を考えていきたいです。

多面的な視点で議論され、地域を活性化する話は只見中が推進しているSDGs、地域の特性を活かす面でも良い案だと感じました。

町の将来について大事に考えていることが感じとれました。今後の総合的な学習の時間に活かし、学びを深めより良い発表にしたいです。

町が発展していく取り組みの話で、実行して欲しいものばかりでした。今回の議会の内容を参考にしながら今後の学習を進めていきたい。

只見町について大人に押し付けるのではなく、自分も未来のことについて考えることが大切だと思いました。

今、町が抱えている問題と、それに対する解決策などについて以前より、理解が深まりました。

私にとって、難しい話でしたが、しっかり聞き、知らないかったこと、課題について詳しく聞け、とても充実した時間になりました。

特に印象に残ったのは、人口の問題が町にとって重大なことなのだと、危機感を持ちました。今回の学びをこれからは活かしていきたいです。

なかなか聞けないような話が聞けたし、ネットで調べるだけでは分からないような課題も知ることができ、今後の学習に活かしていきます。

只見町では、いろんな意見をいろんな視点で議論して、私たちのために最善の選択をして下さっていることを初めて知りました。

町の課題に真剣に議論しているし、只見線が開通しても多くのことを考えて、続けるために考えていることも分かりました。

森林資源についての話は勉強になりました。私たちも町をどのように発展させ、残していくために何をすべきか考えていきたいと思います。

想像していたよりも、人口減少や高齢化が深刻な問題だと分かりました、いろんな取り組みは、このような話し合いで決まっているのだと感じました。



真剣な子供たち

活性化のために前向きに検討され、これからの活動で「失敗をくり返さないようにしなければならぬ」という発言がとても印象に残りました。

駅前のことや新たな観光地などについて、今後どのようにしていくかとしているのか知ることができ、今後の学習に活かしていきたいです。

難しい話や、知らない話も多かったですが、これからも自分の故郷について学び続けていこうと思います。

小学校の統合の話などが印象に残りました。只見町の今後について様々の話が聞けたので、自分の学習につなげていきたいと思います。

私の総合的学習テーマが「人口減少について」なので、人口ビジョン、移住者、認定こども園、様々出てきたのでとても参考になりました。

総合的な学習で人口減少や少子化問題を調べているので、町長さんの話が聞けて良かった。自分なりに更に勉強していきたいです。

学んだことが2つありました。第七次振興計画の目標より人口が下回っていること。様々な側面から町の将来を考えているんだなと思いました。

難しい言葉が多く意味を理解するのが難しかったが、今、只見町はどのような状況になっているのか知ることができてよかった。

少子高齢化社会で、町の未来を担う若者として人口減少や町をよくするために意識を持って生活したいです。

町長さんや他の方々の話や質疑応答を聞けて様々の考え方が分かりました。これからの学習に活かしていきたいと思います。

人口減少、少子高齢化、話を聞くと更に深刻な問題だと感じました。私達もしっかり問題と向き合い対策を考えていきたいと思います。

私が調べている、特に少子化問題、子どもの問題などの話が多く少子化に対してとても力を入れているのだと思いました。

僕には議員の話している内容がまだあまり分からなかったが、化石燃料、新エネルギーや多くの問題の話を聞かせてくれてありがとうございました。

議員の方々が町のことに一生懸命話し合っていました。町のために、これからもよろしく願います。

ひまわり

多くの子供たちから「機会があればまた傍聴したい」という感想が多く町政に対する関心の高さを実感し、今後も多くの課題にしっかりと取り組んでいかなければならないと再認識させられました。

南会津地方町村議会議員大会

7月6日、南会津町「御蔵入交流館」において第74回南会津地方町村議会議員大会が開催され、郡内各町村の要望事項が議決されました。当町要望は菅家忠議員が代表として「八十里越」の開通に向け周辺道路未改良区間の整備促進と、県道「小林・館ノ川線」の未改良区間の整備と通年通行の確保を強く要望し、満場一致で議決されました。詳細内容については以下のとおり。

一般国道289号「八十里越」区間の開通に向けた周辺道路の整備促進について

1. 只見町内の一般国道289号は道路幅の狭い所が多く、カーブなどで大型車両のすれ違い通行が困難な箇所が多いことから、特に大倉字礼堂地内から湯ら里入口を含む、深沢地内から長浜杉沢地内や黒谷字化ヶ地内の改良整備と、急カーブで事故の多発する明和橋の架け替え整備を早急に実現すること。
2. 只見町叶津地内の一般国道289号を跨ぐ只見線の鉄橋は高さが低く、道路幅が狭隘のため、車両・歩行者共に危険が伴う状況となっている。この危険解消と、国道252号合流交差点を含む未改良部分から只見駅前までの整備促進を図ること。
3. 入叶津地区から只見中心市街地に通じ、5.2kmの短縮がはかれる仮称「只見トンネル」の早期実現を図ること。

県道「小林・館の川線」未改良区間の整備と通年通行確保について

1. 熊倉～小川間の防雪施設整備、及び通年通行の確保を図ること。
2. 小林～亀岡間の狭隘区間解消と拡幅整備を実現すること。



一級河川只見川河川整備促進期成同盟会

令和5年8月30日季の郷湯ら里において

1. 令和4年度事業・収支決算報告
2. 令和5年度事業計画・収支予算案について可決。
3. 平成23年7月新潟・福島豪雨の対応として、河川管理施設、人家浸水被害の対応についての説明を受けた。

*事業状況について会津若松・南会津建設事務所管内より報告。只見町管内において八木沢地区の掘削状況、スーパー堤防の除草対策について質疑、要望があった。

各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！
*注 2名が一緒の録画動画になっています。



ブナりん

一般質問者席

一般質問

- 酒井正吉郎14
町の重要課題の解決策は
- 小沼 信孝15
観光政策の進め方は
- 矢沢 明伸16
朝日診療所と地域医療の体制充実を
- 鈴木 好行17
増加するごみ処理費、削減策は
- 三瓶 良一18
只見駅の棒線化は本気度が試されたのでは
- 酒井 右一19
人口推移はどう変遷すると認識しているか
- 中野 大徳20
複合駅舎整備の進捗状況は
- 齋藤 邦夫21
観光施設の導入目的を踏まえ実績の検証を
- 菅家 忠22
只見中学校のグラウンド整備の考えは

町政を問う

町を想い9名が

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

町の重要課題の 解決策は

答 順次重要課題から取組みを進めていく



さか い しょうきち ろう
酒井正吉郎 議員

問

早急に、駅前中心市街地の活性化をすべきと考えるが。

答

駅前中心市街地の活性化は重要であると認識しており、庁舎暫定移転により、町民の皆様や来庁される方々に不便をかけていることは大変申し訳ない。まずは町内の受け入れ体制を整えることが優先事項と考える。

問

JR只見線の存続、活性化は。

答

過去には新潟県を通り、お座敷列車で行く長野小布施の旅として「只見・金山町民号」が企画されたことがあった。この事をJR東日本に伝えたいところ、運行は技術的には可能であるとのこと。関連自治体やJR関係機関と連携し、力を合わせて取り組んでいきたい。

問

薪エネルギー活用については。

答

この事業は只見川の目標の一つである。「持続可能な環境・資源の利用と地域の経済社会の発展」の理念に基づいた取組みであり、薪の活用が広がることにより、管理や活用が不十分となっていない針葉樹の人工林、放置されている薪炭林の

問

湯ら里と振興公社との統合については。

答

現在の湯ら里と振興公社には様々な課題があり、早急な解決を図っているが、両者の改善だけでは限界がある。町全体の観光産業の向上が重要であり、そのためには情報発信力と企画力の強化が必須である。従前にあった観光まちづくり協会の機能を併せて持ち、さらに充実させた新会社設立の必要性を強く感じている。



活気を取り戻す駅前通り

観光政策の進め方は

答 生き残りをかけた展開を図っていききたい

問

新会社を作り観光事業を考えると、振興公社の体制を充実させ、一日も早い観光受け入れ体制及び情報発信の拠点づくりを進めて行く方が迅速な対応が出来るのではないかと。

答

ご意見をしっかりと受け止め、今後検討していききたいと考えます。

問

「町内から人材を確保していききたい。専門的な人材は外部からも確保したい」考えのようだが、人材にあてはあるのか。

答

経営面の人材は地元から経営面に参画頂きたい。人材確保が難しいところは当面の間は外部から応援いただく

問

外部人材のあてはあるのか。

答

当初はモンベルへ人材の協力を打診。その外部人材に地元の人が指導を受け人材確保を図っていかなければならない。

問

外部人材に来ていただき、指導して頂く事を何時からされるのか。

答

モンベルと打ち合わせ後、時期についてはお話ししたい。

問

事業提案されるのであれば将来このぐらいお金が掛かります。といった、しっかりとした説明して頂きたい。

答

はじめに事業の導入計画を説明したいと考えたのでそ

の様なことになったが、今後はしっかりとした説明を出来るようにしたい。まずは大きな方向性、趣旨を議会へ説明し、その後具体的に費用を説明していきけるよう努める。

問

只見町としての観光の捉え方、今後の進め方は。

答

自然・人・歴史・文化どれをとっても素晴らしい、只見ユネスコエコパークとして世界的に認められており様々な資源や要素があるが十分に観光産業として育み活かす事が出来ていないのが現状、今後はこの現状と真摯に向き合い、より良い方向性と手法を導き出し、只見町の生き残りをかけた観光産業の展開を図っていき



お ぬま のぶ たか
小沼信孝 議員



素晴らしい資源を活かせる組織作りが急がれる

朝日診療所と 地域医療の体制充実を

答 地域医療は生き抜いていく生命線の一つである



あきのび
ざわ
や
矢沢明伸 議員

問 20年前朝日診療所の危機的状況があり、それを打開するため緊急町民大会が開かれた。その後県の支援もあり医療体制が整えられてきたが、現在医師の減員や救急、入院の制限など大きな課題がある状況だが、どう取り組んでいくのか。

答 この地域で安心して医療を受けることは誰もが持つ切実な願いであり、朝日診療所の医療を提供していくことは、この地

域が生き抜いていく生命線の一つである。課題は人材確保であり、引き続き取り組んでいく。

問 朝日診療所は福祉の核となるもの、医師も減員となっている現在、20年前のような状況に近いものではないか。

答 この20年間の地域医療は、関係者のみの努力では難しい環境になってきている。南会津地域の救急の実態と医療施設の脆弱さとの相関関係を明らかにした要望活動を郡内町村で取り組んでいく考えである。

問 朝日診療所へは「ゆきんこタクシー」や「介護タクシー」などの利用で通院が可能だが年齢や身体状況によっては移動手段が限られ、南会津病院や会津若松市への

通院などは容易でない状況があると聞く。このような現状をどう捉えているか。

答 医療機関への移動手段は「ゆきんこタクシー」、「介護タクシー」の他「いきいきバス」など、南会津病院へは「自然首都・只見号」会津若松市近郊へは「介護タクシー」を利用されている。遠方への通院が容易でないことは承知をしている。

問 「介護タクシー」など助成があるとはいえ、利用される方の負担も小さくないので、支援の在り方も含め、検討していく必要がある。国道289号の「命の道」として緊急医療の向上が期待されている。今後具体的に医療連携の取り組みが急務でないか。

答 新潟県央基幹病院が来年3月に開院の予定。3年後に迫った八十里越えの開通を見据え、連携の取り組みを始めている。



朝日診療所は地域医療の中心

増加するごみ処理費、削減策は

答 可燃ごみの減量化、リサイクルの推進に努力する

問 燃料費、電気料金の高騰により、南会津地方環境衛生組合のごみ処理費負担額が増加している。可燃物として収集しているごみには相当量の資源ごみが混在している。分別を浸透させる考えはあるか。

答 資源ごみが可燃物として排出されている実態がある。可燃ごみの減量化と併せてリサイクルの推進に努力する。

問 生ごみの処分は焼却時間が長く、コストもかかり、二酸化炭素排出量も増える。削減策はあるか。

答 現時点では生ごみの水切りをよく行なうこと、併せて食品ロスの削減等の周知により、推進したい。

問 ごみ処理にかかる費用、削減すればどのくらい負担額が減るか、など具体的な周知の仕方をしてもらいたい。

答 具体的な周知を実施したい。

問 高齢化が進み、一人ではごみを出せない家が増えてくると考える。対策はあるか。

答 ごみ出し等を含む地域ボランティア団体等へ訪問型サービスB事業補助金を補正予算に計上し、取り組んで行く。

役場庁舎、公民館など気軽に入れる雰囲気

答 振興センターから公民館へ変更

問 町民の困りごと、悩み事があるときに相談できる部署はあるか。

答 窓口である町民生活課や公民館、または総務企画課へ問合せいただき、担当部署へ案内する。

問 公民館を多世代交流施設として、広く利用してもらう施策はあるか。

答 各種講座等の充実に努める。

問 役場庁舎、公民館など用事の無い人は入りにくい雰囲気になっている。もっと気軽に誰でも入れる雰囲気づくりが必要だ。

答 機構改革で振興センターを公民館に変更し、利用しやすい環境づくりに努めている。



鈴木好行 議員



利用しやすい雰囲気づくりを

只見駅の棒線化は 本気度が試されたのでは



さん べりょう いち
三瓶良一 議員

答 棒線化は外堀を埋めるやり方だ

問 CO₂削減やSDGsの時代だ。只見町の豊かな自然と共生する21世紀型の観光政策を打ち出すべきで、未来に確信と夢を与える観光地づくりが必要だ。

答 只見線の再開通が決定されてから4年数ヶ月が経過した。その間の対策に迅速性が感じられなかった。今頃になって只見駅の棒線化が示されたことは只見町の本気度が試されたのではないか。

答

満足のいくおもてなしが出来なかったことは反省点だ。今後は受け入れ体制や情報発信体制を強化する。棒線化は水を差し外堀を埋めるやり方だとJRに申し入れた。今後は話し合いを継続する。この度、国、JR、自治体の三者で施設整備を負担し合う支援制度を国は明文化した。決定ではないので経緯を見極めた上で駅舎等の整備に取り組みたい。賑わい広場づくりは来年設計、再来年度着手したい。八十里が全通する三年後が駅前と駅舎等含めた目標年次と思っている。

問

第三セクターの借金が増えていく。総務省の指針から行くと閉店か売却するかの状態だ。しかし、八十里開通が間近な今は経営改善に努力すべきだ。親方日の丸意識を無くして職員のやる気と、団結して経営にあたることだ。毎月収支決算を行なう等厳しい経営に徹するべきで、料理も研究や改善が必要だ。料理が良ければ繁盛する。

答

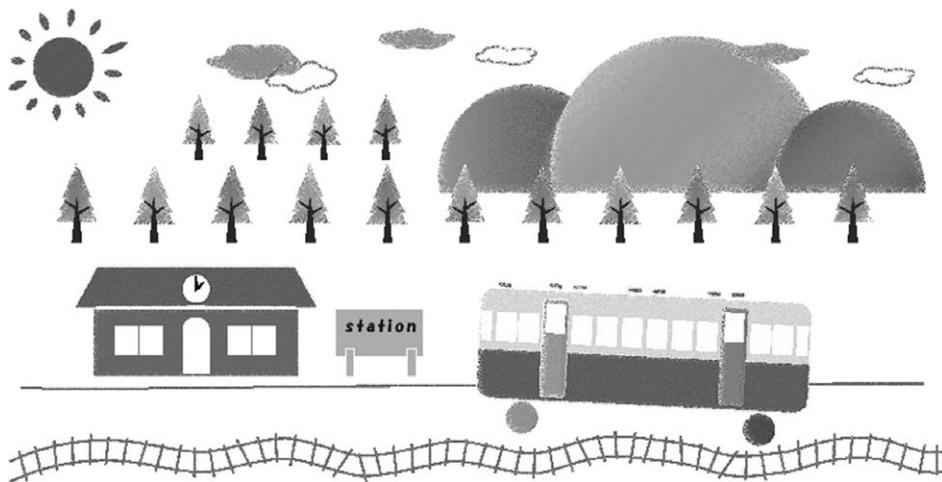
ここにきて、毎月の経営会議が定着してきた。料理については試食会を定期的に実施するようになった。フロントと厨房の連携にも努力している。

問

田子倉湖の遊覧船が動かない。対応を考えるべきだ。河井継之助を運んだ蒲生、塩沢間の旧道をトレッキングコースとして整備を検討してはどうか。

答

様々な課題や問題がある。今すぐにはできないが研究、検討していきたい。



人口推移はどう変遷すると認識しているか

答 社人研の人口推計に近い変遷が想定される

問 只見町人口ビジョンが示す期限までに本町の人口の推移はどう変遷すると認識しているか。

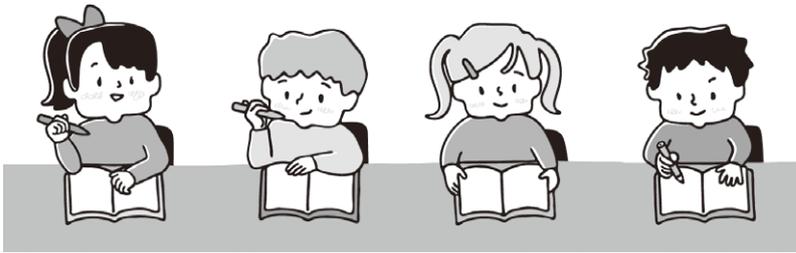
答 国立社会保障・人口問題研究所

(以下社人研)が公表した人口推計は人口構成といった要因の大半を捉えており、町単独で

の取り組みによる劇的な改善は難しいと考えられるので、基本的には社人研の人口推計に近い変遷が想定されるが、少しでも人口減少のスピードを遅らせ、目標値に近づけるべく、引き続き諸施策に取り組んでいく。



さか い ゆう いち
酒 井 右 一 議員

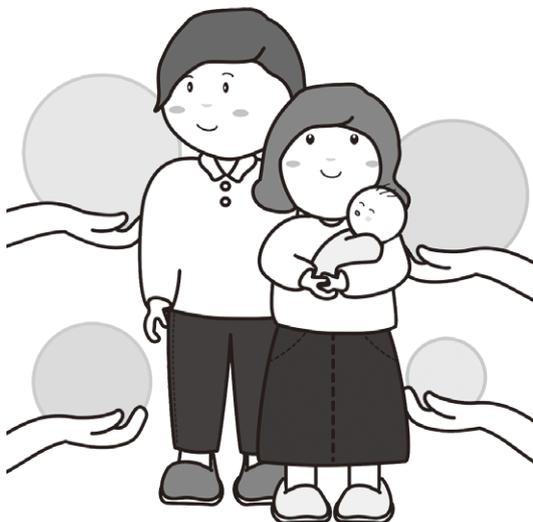


出生数の増、子育て支援充実の施策は

答 まずは、現行施策の十分な周知を

問 移住、定住促進施策も大切だが、出生数を増やし子育て支援をしていく事がより重要と考える。今後出生数増やし、子育て支援をより充実させるための施策を用意しているか。

答 今後出生数を増やすには、まずは町内の20歳台から40歳台の人口を増やしていくことが重要であると考え、移住交流、商工振興等への取組みを強化することを目標に交流推進課を設置した。まずは、現行施策の十分な周知を行うとともに、さらに有効な施策の調査や検討を行っている。また、地域のこどもにとつてより良い環境を提供することが子育て支援の最大の充実と考え、教育・保育を一体的に行う認定こども園の設置が有効と考える。



複合駅舎整備の進捗状況は

答 只見駅と只見線広場を含め整備計画を



なか の たか のり 議員
中野大徳

問

JR只見線全線
開通一周年を迎え、その間、只見駅で下車される観光客、臨時列車の増便、予想以上の鉄道ファンの来町、また、沿線住民の活性化にも大きく貢献し、再開通は予想以上の経済効果をもたらしていると考えます。今後の只見駅前及び只見駅舎の整備計画について、令和8年の289号全線開通までに複合駅舎を整備したいと明言されてきたが進捗状況は。

答

全線運転再開により、予想以上の経済効果をもたらしている現状は、同様の認識であり、好機と捉え、3年後の国道289号八十里越の開通にあわせて複合駅舎を整備したい思いであった。現在の駅舎をホームに近い下流側用地への建設をJRと協議重ねてきたが、用地については保線区で使用する土地であると示した。想定していたより売却できる範囲が限られるという事であった。埋蔵文化財調査も完了したのでエリア全体を一体的に検討し只見駅と只見線広場を含めたゾーニングと施設等の整備計画を進めていきたい。

問

全線開通一周年記念イベントは多くの人の応援を改めて再確認する場となった。JR東日本より只見駅構内の「線路のスリム化」の説明があったが町長の考えは。

答

JR東日本は一つの企業であり、人口減少が予測される中、安心安全の維持とコスト削減の為に設備改修などは只見線に限ったものでなく、ローカル線にあっても避けられないものと思っている。しかしながら、全線運転再開を起爆剤として、地域振興に取り組んでいる中、ホームに列車が並ぶ光景がなくなる設備改修の提案には大変残念な思いである。この件は、継続協議となっているので情報共有を図りながら今後の対応を検討する。



再開通一周年記念イベントの様子

観光施設の導入目的を踏まえ 実績の検証を

答 公益、収益の根拠を明確に経営改善に努める

問 都市交流促進センターの改修、町がオーナーでリニューアルが進まない理由は何か、現行指定管理料金の算定基準、源泉の老朽化対策、また只見振興公社が管理する観光施設の入込状況とその評価を問う。

答 施設のリニューアルが進まない理由は、整備計画を検討中に源泉の水位低下と井戸の不具合が発見され調査の結果高額な費用が掛かるため慎重に対応することになった。一方で新型コロナウイルス感染症の影響で売り上

げが減少し経営改善を最優先で取り組むこととし現在に至っている。また、指定管理料は湯ら里本体、むら湯、源泉など、施設維持費と外部委託料等である。入込状況は、コロナ感染症も回復傾向にあり只見線の全線運転再開で全体的に増加傾向にある。観光客に対する利便の供与を通じ就労の機会や所得の向上に寄与し、十分とは言えないが目的と役割を果すべく努力している。

受託者が経営意欲の持てる指定管理基準の見直しをする考えはないか。

答 本来の都市と農村の交流促進センターという趣旨を踏まえて検証したい。公設民営施設として指定管理料は公益・収益の根拠を明確にして運営できるように努力したい。

水道施設 改修計画は

答 令和4年～15年の計画で進めている

問 簡易水道の課題と改修計画並びに集落給水施設の支援について問う。

答 既存施設の課題は管路の老朽化による漏水対策である。令和四年から十五年までの計画で敷設替えを進めている。集落管理の給水施設は十五施設、町補助金交付規則で支援している。

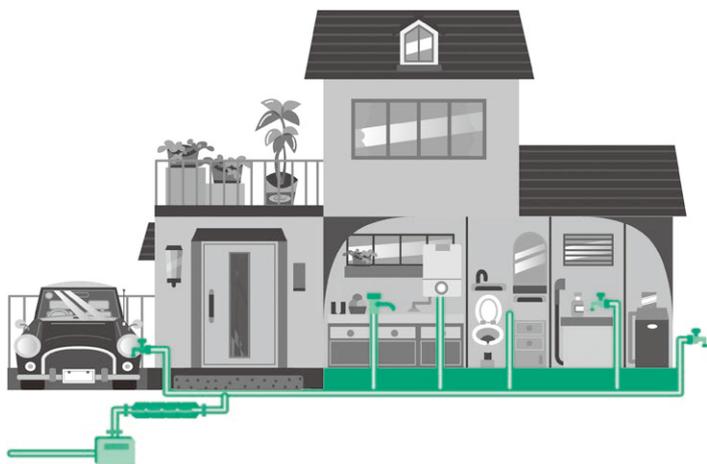
問 町民の健康を守るという視点で給水施設の水质検査を支援すべきと考えるが町長の考えを問う。

答 簡易水道が敷設されない地域も格差が生じないように水质検査に必要な費用など制度を改め支援したい。



さいとう くに お 齋藤 邦夫 議員

問 観光施設の導入目的を踏まえて実績を検証すべきと考える。また、収益性の高い施設整備に努め、



只見中学校の グラウンド整備の考えは

答 基本的な改修に向けて努めていく



かん け 家 忠 議員

問 現在のグラウンドの状況は。

答 経年劣化による排水機能の低下、積雪等の影響による表土の流出により硬化している。

問 初めてのグラウンドが整備されてから何年経過しているか。

答 昭和59年に整備されてから39年経過している。

問 現在までに大規模な改修工事を実施したことはあるか。

答 ない。

問 今年度のスポーツトラクターでの整備実績は。

答 4月29日と8月9日に実施しており、グラウンド表面の石の除去と除草及び整地を行い一定の効果はあった。

問 保護者や中学校からグラウンド整備の要望をどこまで重く捉えているか。

答 学校施設における屋外環境は生徒の体力づくりの場であり、たくましく心豊かな生徒を育成する重要な場であると認識している。安全に利用できる施設環境を維持することを最優先に考え、保護者や中学校からの要望は重要視している。

問 グラウンド整備計画を実施計画にのせる必要性はあると考えているか。

答 施設整備は予算と時間が必要となることから、実施計画策定時に協議を進めたい。

問 大規模な改修工事を実施する場合の概算見積額は出しているか。

答 実施計画の策定に合わせて概算見積額を積算したい。

問 県立高校と町立中学校のスポーツ環境整備は、どちらが優先と考えているか。

答 県立高校は県で、町立中学校は町で予算化して取り組んでいる大前提を踏まえた上で、どちらも

重要だと考える。時間と予算が必要なため時期は明言できないが、グラウンドは基本的な改修が必要である認識は議員と同じであり、改修に努めていきたい。

※実施計画とは、近い将来実施する可能性の高い事業を網羅した計画



只見中学校グラウンドへ基本的な改修を



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.37



アカシヨウちゃん

今回は議会議員選挙 について聞きました



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami



ブナりん

議会議員選挙には誰でも出ることができるの？

議長

只見町に住所が3ヶ月以上あって、満25歳以上の人は出ることができるんだよ。

ブナりん

今度の議会議員選挙から変わったことがあるって聞いたけど？

議長

そうなんだよ、選挙に使う車、燃料代、ポスター、チラシなどの一部費用が公費から出されることになったんだ、それと選挙に出る人は供託金15万円を納めるように変わったんだよ。



アカシヨウちゃん

費用が公費から出してもらえるのは良いね。でも供託金は納めないといけないんだ。

議長

供託金は当選や一定以上の結果を出したときは、すべて返還されるんだよ。

イワっぺ

議員は年何日くらい活動するの。お金はいくら位もらえるの？

議長

去年は議会活動としては年90日位かな。議長はほかの人達より多くて170日位だったね、今年はもう少し多くなってんだけどね。報酬は月々189900円、議長は月々270900円、その他に年2回の賞与が出るんだよ。



ブナりん

議員になりたい人はたくさんいるの？

議長

それが全国的になり手不足で定数を下回ることもあるんだよ。みんなも町のことに興味を持って町が良くなるように一緒に考えていって欲しいな。

ブナりん

ぼくも大人になったら議員になって町のこともっと考えてみようかな。



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。



若者たちの目線 vol.37

只見町って
なじよだよ?

只見町を守るために



只見中学校
2年 星 柚子葉

私の只見町の好きなどころは、人が明るく優しいところと、自然豊かなところ。そして、地域の人々のつながりが強く、交流が多いところも只見町の魅力だと思います。現在の只見町の課題である「過疎化」を防ぐためには、新たな観光スポットを作るなど只見町に多くの人々を呼び込み、活性化を図る必要があると思います。

私がより良くなるように町民としての誇りを持ち、只見町の魅力を多くの人々に伝えていきたいと思っています。

ひとこと

大好きな誇れる只見町その魅力を多くの人に伝えひとりでも多くのファンを増やしていくことが大切だね。

只見町の未来



只見中学校
3年 長谷部優歌

私は只見町が大好きです。私が大人になってもこの町に住み続けたいです。しかし、最近只見町の人口ビジョンを見たり、議事を傍聴したりして、只見町の少子高齢化は深刻な問題だと言うことを改めて実感しました。この先、少子高齢化や人口減少が原因で只見町がなくなってしまうたらとても悲しいです。

若者に只見町の魅力を伝え、只見町を知ってもらえるような活動をしたいです。大切な只見町を自分の手で守りたいです。

ひとこと

多くの課題があります。魅力ある町の発信をしなから若い人の力で只見町の未来を守り育てていくてください。

編集後記

先日広報委員会の研修に行かせていただきました。その中で「誰に読んで欲しいのかを考えた紙面作りを心掛けましょう」と指導をいただきました。講師によると町民は議会に対し以下のように分類することができそうです。「①関心が高くて知識が多い人」「②関心があって知識が少ない人」「③関心が低く知識が少ない人」

「③の人を①に移動してもらおう議会だよりも良いのではないだろうか。」と講師が提言された私は受け止めました。小さな変化から大きな変化になるよう、これからもわかりやすい紙面作りに努めてまいります。皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

(菅家忠委員)

- 発行責任者 大塚純一郎
 議長 小沼 信孝
 広報広聴常任委員会
 委員長 菅家 忠
 副委員長 中野 大徳
 委員 山岸 国夫
 鈴木 好行
 矢沢 明伸